

外出支援サービスに関するアンケート結果報告会

【ご案内】

- インターネット（Ustream）による生中継を行っています。
- 事業やイベントなどのパンフレット・チラシの配布コーナーを用意しています。
- どうぞ前の方にお詰めになってお掛け下さい。

「外出支援サービスに関するアンケート」結果報告会

2013年3月21日(木) 13:30～15:30
沖縄県総合福祉センター 第7会議室

アンケートの目的

- 介護タクシー、福祉タクシー、民間救急車、福祉有償運送などと呼ばれる”外出支援サービス”の周知度を測るため
- 利用する側が必要としている情報を知るため
- 外出支援サービスに対する意見を集約し、今後当プロジェクトが発行する情報誌の参考とするため

調査方法

- 2011年2月～2012年3月に実施
- ケアマネジャーや相談支援員を中心に、施設利用者や患者などを対象に実施
- 郵送による配布・回答を中心に、直接回答いただく方法や代筆、インターネット上で回答
- Q1～9まであり、Q1は『のりすけ』をみる前、Q2～は『のりすけ』をご覧いただいた後で回答を求めた

結果—回答者の構成

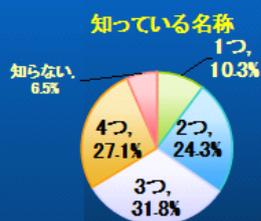
- 回答総数107件
- 性別：男性36名、女性64名、無記入7名
- 65歳以上の高齢者8名（7.5%）
- 障がい者11名（10.3%）
- 高齢者家族63名（58.9%）
- 障がい者家族36名（33.6%）
- 医療・福祉職80名（74.8%）
- 回答者属性については重複している場合がある

結果—調査した4つの名称

- 介護タクシー
- 福祉タクシー
- 民間救急車
- 福祉有償運送

- 内容については回答者の判断に任せ、「ご存知でしたか？」という問いに「はい」「いいえ」「利用したことがある」の3件で回答を求めた

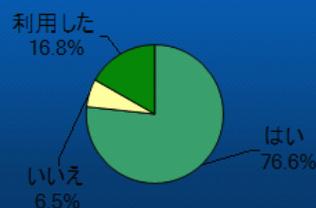
結果—周知度①



- 93.5%が外出支援サービス全体について、どれかひとつでも知っていると答えた
- そのうち18.7%がいずれかを「利用したことがある」と答えた

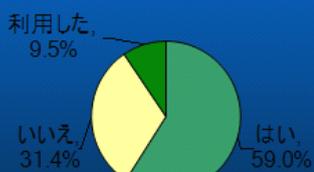
結果—介護タクシー周知度

介護タクシー



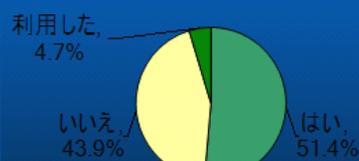
結果—福祉タクシー周知度

福祉タクシー



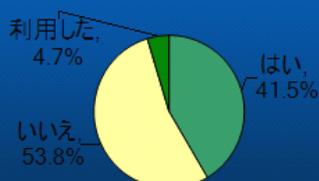
結果—民間救急車周知度

民間救急車



結果—福祉有償運送周知度

福祉有償運送



結果—情報源①

『介護タクシー』

- ケアマネジャー
- 市役所・行政機関
- 仕事上
- 事業所
- 友人・その他の人
- 病院
- 見かけた 等

『福祉タクシー』

- 市役所・行政機関
- ケアマネジャー
- 友人・その他の人
- 自分で調べた
- 社会福祉協議会
- 病院
- 仕事上 等

※回答数が多い順

結果—情報源②

『民間救急車』

- 病院
- ケアマネジャー
- 見かけた
- 友人・その他の人
- インターネット
- 事業所
- 他事業所 等

『福祉有償運送』

- 市役所・行政機関
- 事業所
- 仕事上
- 友人・その他の人
- ケアマネジャー
- 病院
- 社会福祉協議会 等

※回答数が多い順

結果—内容の周知①

初めて知った情報

利用対象者	サービス内容	利用料金	利用方法	ない
31.8%	42.1%	43.9%	41.1%	22.4%

結果—内容の周知②

異なって知っていた情報

利用対象者	サービス内容	利用料金	利用方法	ない
9.3%	13.1%	13.1%	8.4%	29.0%

元々知らなかった... 27.1%

結果—必要な情報

必要としている情報

情報項目	必要としている割合
利用料金	75%
連絡先	70%
当日予約	60%
利用条件	55%
予約方法	55%
サービス内容	50%
レンタル	45%
資格	30%
車両情報	20%

結果—サービスの必要性

外出支援サービスを利用したいとおもいますか？

回答	割合
はい	74.7%
利用する必要がない	24.3%
いいえ	0.0%

結果—情報誌の必要性

情報誌は必要ですか？

回答	割合
はい	97.1%
いいえ	2.9%

考察とまとめ①

外出支援サービスといえば「介護タクシー」。
しかし内容は定かではない

- 4つの名称も半数程度以上には周知
- 3人に1人が初めて知った情報がある
- 名称の周知度は高いが内容の羞恥は不十分
- 多くの方々が外出支援サービスに関心を持っている

考察とまとめ②

外出支援サービスの多くの情報を
必要としている

- 6項目について半数が「必要」と答えている
- 専門職が情報提供する際に多くの情報が必要
- サービスを提供出来る地域も知りたい

考察とまとめ③

「利用したい」と思える情報提供

- 情報提供の必要性が高い
- 専門職も正しい情報を得られていない可能性
- 正しい情報を伝えると同時に「自身はどのようなサービスが利用できるか？」という疑問が解消できるようにする
- 事業所によってことなった内容を明確にして、不透明性を払拭できるような情報提供

考察とまとめ④

- 援助者や当事者自らが情報を得られる機会を作る活動の必要性を再確認
- 多くの要望や疑問が書き綴られている
- 「同じ距離なのに事業所によって料金に差がある。請求に不信感がある」等々の意見
- 情報提供と同時に、意見を集約し代弁することでサービス全体の質を挙げられるような活動も必要

これらの結果を基に
情報誌『のりすけ』第2弾の計画を
進めていきます！

以上、結果報告でした。

情報誌『のりすけ』第2弾概要

那覇市内の外出支援サービス事業所を
調査誌、その事業所情報をまとめて掲載
し、発行した情報誌を広く市民に配布する。

情報誌『のりすけ』第2弾

- 【掲載情報】那覇市内に住所を置く
- 介護タクシー事業所
- 旅客許可を持つ介護保険事業所
- 旅客許可を持つ障害福祉サービス事業所
- 民間救急サービス事業所
- 那覇市が行っている公共サービス
- 無償で外出支援サービスを行っている事業所(団体) 等

情報誌『のりすけ』第2弾

- タイトル→介護移送ご利用ガイド『のりすけ』第2弾
- サイズ→B5 25P
- 発行部数 2500部
- 印刷→モノクロ印刷、予算状況によりカラー印刷を検討

情報誌『のりすけ』第2弾

【取材方法】

- 直接訪問してのインタビュー取材が基本

【配布方法】

- 公共施設や医療機関に配置

以上で報告を終わります

ご清聴ありがとうございました
m(_)_m